

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-04-571
基本事業：	03	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数 歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数		担当課	文化財課
			担当係	博物館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民や市外住民 教育・研究機関 団体・グループ		市民の財産である郷土の文化財を収集し、恒久的な保存を図ります。収集された資料の活用を図るため、整理作業（目録の作成や台帳の整備）を行います。市民の学習や社会活動に必要な歴史・文化資料を収集し、資料を活用できる状態に整理・整備を行います。貴重なもの、状態が悪いものは、修復やレプリカを製作し保存・活用を図ります。I P M：総合的有害生物管理に基づく日常管理を行い、資料を適切に保管します。			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					
資料を収集し、適切に保存・管理を行い、貴重な文化財を後世に伝えていきます。また、整理及び修復を行い活用できる状態にします。					

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
収蔵点数	点	242,179	246,389	245,000				
活用点数	点	1,281	1,115	1,000				
5. コスト								
事業費	計	千円	993	772	1,154	1,577		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	993	772	1,154	1,577			
正職員人工数	人工	0.5	0.3	0.3				
正職員人件費	千円	3,961	2,318	2,345				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	4,954	3,090	3,499	1,577			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	大賀禮太郎家文書の整理については、令和4年度は3825点の目録を作成しました。（R01:3000点、R02:4200点、R03:4770点）その成果は、企画展において古文書とともに広く市民に公開しています。（R02年度～） 収蔵資料については、保存すべき資料と学習支援の一環として貸し出せる資料を区分し、展示等への活用の他に、パッケージ資料を製作し、資料の貸出の充実を図っています。総合的有害生物管理（I P M）に基づき、モニタリング結果を検証し、日常清掃に反映させ博物館の適正な環境管理を行い、虫の食害から収蔵文化財を守っています。新たに収蔵した資料は、計画的に整理し適正な保管を進めています。郷土資料の収集については、収蔵スペースに限りがあるため、文化財としての価値を慎重に判断しながら進めています。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり
成果向上余地	大きい		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
古文書に特化した展示会を開催している近隣の市町はなく、古文書は将来本市の目玉となる資料の一つです。業務に精通した正規職員の育成・設置を行うことで、今後も継続して整理を行い成果を公開することができます。修理が必要な資料については計画的に予算化するとともに、業務にあたる知識を有した学芸員の育成が必要です。	館内の温湿度管理については、既存のシステムが数年前から故障しており、現在、職員が巡回し記録しています。常設展示室内の特に細かな温湿度管理が必要なものについては、部分的に観測機器を設置し温湿度管理をしています。適正な展示・保存環境の維持のため温湿度管理システムの更新が必要です。
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
地域の歴史・文化の学習、市民活動に供するため、資料を収集し、適切に保存・管理しています。都市化により、文化遺産は失われつつある一方、市民の地域文化に対する意識は高まり、文化財・文化遺産等の資料や情報の提供要望が増えています。	